

応急手当の基礎知識

武雄消防署 救急係

夏になり、また暑い季節がやってきます。水泳・花火と楽しい季節ですが、それに伴って事故も起きやすくなります。身近で起こる事故に備えて、次のことを覚えておきましょう。

① 涼しい場所へ移動

風通しのよい日陰や冷房が効いている室内など涼しい場所へ移動させる

② 体の冷却

涼しい場所へ移動したら、体から熱を奪うために衣服を脱がせつつわや扇風機で風をあてる。

熱中症

熱中症は予防が大切

- 屋外では帽子をかぶりましょう
- 水分をこまめに摂取しましょう
- 日陰を利用しましょう

症状

- 手足が痛い、筋肉が硬直する
- 目まい、立ちくらみがある
- 汗が何度ふいても出てくる
- 体がだるい、頭痛がする

手当て

熱中症の症状があったら、次の手当てをしましょう。

こんな時は？

- 皮膚が赤く乾燥して触ると熱い(汗をかけない状態)
- 浅くて速い呼吸
→すぐに医療機関を受診しましょう。
- 全身けいれん
- 自力で水分・塩分を取れない
- 意味不明の言動、もうろう状態、うわ言を言う
→すぐに医療機関に搬送しましょう
- 意識がない、呼びかけに対し返事がおかしい
→すぐに **119** 番通報しましょう

(氷のうなどが準備できれば、首、脇の下、太ももの付け根などを冷やす)

③ 水分・塩分補給

発汗により脱水症状になり、水分だけでなく塩分も失われているので、スポーツドリンクや塩水(500ccにスプーン1杯の塩)を補給する



アナフィラキシーショック

アナフィラキシーショックとは

ハチ毒や食物、薬物等が原因で起こる、急性アレルギー反応です。

血圧低下等の急激な血液循環の異常から引き起こされるショック症状で、生命を脅かすような危険な状態です。

症状

- じんましん、紅潮(皮膚が赤くなること)
- 呼吸困難、目まい、意識障害 など

対応策

これらの症状に陥った場合、重症で命にかかわるケースもあります。そのため、「迅速かつ的確な処置」が必要となりますので、いち早く医療機関を受診しましょう。



担当：山北

武雄消防署 救急係

(23) 2151

